

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
佐賀工業専門学校		昭和52年11月16日	江口 敏文		〒849-0921 佐賀市高木瀬西三丁目7番1号 (電話) 0952-31-4628		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人江楠学園		昭和35年3月25日	江口 敏文		〒849-0921 佐賀市高木瀬西三丁目7番1号 (電話) 0952-30-5422		
目的	教育基本法および学校教育法の精神に則り、実践的かつ専門的な職業教育を基礎 応用の両面から徹底して行い、豊かな教養を身につけ勤勉で責任感旺盛な専門技術者の育成を目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
工業	工業専門課程		自動車学科		平成6年文部省告示第84号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間		1980	720	0	1260	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		77人		6人	2人	8人	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 優、良、可、不可の4段階 学科試験及び実技試験		
長期休み	■学年始: 4月9日 ■夏季: 8月10日～9月30日 ■冬季: 12月25日～1月7日 ■学年末: 3月21日～4月8日			卒業・進級条件	成績評定がすべて可以上 決河がるものについては、補習で補う事 提出物が出されている事		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 家庭訪問及び保護者呼出			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア参加 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 自動車ディーラー、建設機械整備 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	2級自動車整備士 中古自動車査定士 低圧電気取扱特別教育 有機溶剤作業主任者技能講習		
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成28年4月1日 在学者 77名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 74名 (平成29年3月31日 卒業者をを含む)		■中退率 3.9%				
	■中途退学の主な理由 進路の変更						
	■中退防止のための取組 朝のHR欠席者(本人へ連絡) 1日欠席者(保護者へ連絡) 2日以上欠席(家庭訪問)						
ホームページ	URL: http://kounan-gakuen.jp/sakousen/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

卒業生の就職先の業界における人材の専門性に関する動向、国または地域の産業振興の方向性、新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識、技術、技能などを十分に把握、分析した上で、本校の専門課程の教育を資するにふさわしい授業科目の開設または授業内容・方法の改善・工夫等を行うなど、専攻分野に関する企業、関係施設、関係団体等と連携し実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施するための教育課程の編成を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名前	所属	関係学科
江口 敏文	学校法人 江楠学園 理事長	
	佐賀工業専門学校 校長	
吉岡 辰己	一般社団法人 佐賀県自動車整備振興会 総務企画課 課長	自動車学科
小野 功	株式会社 スズキ自販佐賀 総務部 総務経理課 課長	自動車学科
松下 良朗	株式会社 JALグランドサービス九州 安全業務情報室課長	エアポートサービス学科
中村 雅美	三愛アピエーションサービス株式会社 佐賀営業所 取締役所長	エアポートサービス学科
永井 徹	佐賀工業専門学校 顧問	エアポートサービス学科
田崎 博之	佐賀工業専門学校 自動車学科長	自動車学科
古賀 芳仁	佐賀工業専門学校 エアポートサービス学科長	エアポートサービス学科

〈開催日時〉

第1回 平成28年12月21日 14:00～16:00

第2回 平成29年2月13日 14:00～16:00

※ 毎年度2回開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

自動車メーカーの技術革新は、目覚しくその整備技術を学ぶには、自動車販売会社及び整備振興会などの連携が必要であり、実習車及び教材等の協力を得られることが可能な企業、業界団体を選定する。

科目名	科目概要	連携企業等
エンジン整備作業	エンジン分解組付け作業、ジーゼルエンジン噴射ポンプ分解組付け作業及びテスターでの良否判定を行う。	いすゞ自動車九州(株)
シャシ整備作業	トランスミッション、ディファレンシャル、ステアリング、サスペンション、ブレーキ等の分解組付け作業及び測定作業を行う。	ネットトヨタ佐賀(株)
電装整備作業	電気の基礎を学び、灯火装置等車体電装品の構造を理解し点検作業方法や分解整備作業を行う。	(株)佐賀マツダ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

専門的かつ実践的な知識、技能を有し即戦力となる人材を育成するために、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、授業に反映させなければならない。そのためには、下記の教員研修に参加する環境を整える。

- ① 教育課程編成委員会に参加する企業等から講師を派遣してもらい実践的な実技研修
- ② 自動車整備振興会による最新技術、整備主任者、自動車検査員研修の受講
- ③ 自動車メーカー主催の新型車及び新機構講習会受講

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月1日現在

名前	所属	関係学科
吉岡辰己	一般社団法人佐賀県自動車整備振興会 総務企画課 課長	自動車学科
小野 功	スズキ自販佐賀株式会社 総務部総務経理課 課長	自動車学科
松下良朗	株式会社JALグランドサービス九州 安全業務情報室 課長	エアポートサービス学科
中村雅美	三愛アビエーションサービス株式会社 佐賀営業所 取締役所長	エアポートサービス学科
大坪健造	北陵高等学校 校長	
冬野英雄	佐賀工業専門学校同窓会(蛍翔会) 副会長	

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://kounan-gakuen.jp/sakousen/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://kounan-gakuen.jp/sakousen/>

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			自動車 原動機	ガソリン（レシプロ、ロータリ）・ディーゼルエンジン本体の構造、各部品、各補機装置の構造及び働きを学びます。	1前後	60	4	○			○	○			
○			自動車 構造	自動車の仕組み全般を学びます。（トランスミッション・ディファレンシャル・サスペンション・タイヤ）等の構造。	1前後	60	4	○			○	○			
○			電装品 構造	電気回路の基本や半導体、点火装置、モーター、充電装置の構造及び構成部品の働きを学びます。	1前	30	2	○			○	○			
○			自動車 力学	力のモーメントとつり合い、運動や仕事と動力等、2級整備士試験問題に出題された内容に重点を置いて学びます。	1前後	45	3	○			○		○		
○			製図	第三角法による正投影図の作成・斜眼紙に書かれた等角図から方眼紙に正投影図を作成等、図面への理解力を向上させます。	1前	15	1	○			○			○	
○			自動車 材料・油脂	自動車のボデー（金属の加工）ガラスの種類、自動車の燃料、自動車に要求されるオイルの性能について学びます。	1前	30	2	○			○		○		
○			エンジン 整備	エンジン本体の構造、応用による整備方法、電子制御装置の構成部品と働き及び点検方法を学びます。	1後	30	2	○			○		○		
○			シャシ 整備	動力伝達装置・アクスル及びサスペンション・ホイールアライメント・ステアリング装置等の構造や機能等を学びます。	1前	30	2	○			○		○		
○			自動車 電子	半導体の種類と特性を理解し、電子回路に使用されているダイオード、トランジスタ、論理回路について学びます。	2前後	60	4	○			○		○		
○			自動車 数学	荷重・駆動力・電気回路・膨張係数・加速度・ピストンスピード・バルブ機構・電力量等自動車に関する計算を学びます。	2前後	60	4	○			○		○		
○			シャシ 整備	動力伝達装置、サスペンション、ステアリング、ホイール及びタイヤ、ブレーキの構造について学びます。	2前	30	2	○			○		○		

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			電装品整備	電子制御装置や充電装置の構造や働きを理解し、電装品各部の点検方法や整備方法を学びます。	2前	30	2	○			○			○	
○			電子装置整備	オートマチックトランスミッション、ABS、電子制御サスペンション、電動パワーステアリングの構造について学びます。	2後	30	2	○			○			○	
○			故障原因探究	電気配線図や、外部診断器の活用方法を理解し、機械的な故障原因と電子制御システムの故障原因を区分して学びます。	2後	30	2	○			○		○		
○			機器の構造・取扱	自動車の点検に使用される検査機器の構造、取扱方法を理解し、自動車が安全に走行できるよう調整方法等を学びます。	2後	30	2	○			○		○		
○			自動車検査	道路運送車両法の保安基準と自動車検査機器の構造及び原理、取扱方法を理解し自動車検査に合格するか否かを学びます。	2後	30	2	○			○		○		
○			自動車法規	整備士技能検定制度・自動車に対する法規制・道路運送車両法・自動車点検基準・保安基準・NOx、PM法等を学びます。	2前	30	2	○			○		○		
○			工作作業	ボール盤等、電気工具や手作業工具を使用し自動車部品の修理や工作作業を行います。	1後	30	2			○	○		○		
○			測定作業	ノギス、マイクロメータ、シリンダゲージ、ダイヤルゲージ等を使用しエンジン各部の測定、良否判定を行います。	1後	45	3			○	○		○		
○			エンジン整備作業	エンジン分解組付、ジーゼルエンジン噴射ポンプ分解組付け及びテスターでの良否判定を行います。	1前後	240	16			○	○		○		○
○			シャシ整備作業	トランスミッション・ディファレンシャル・ステアリング・サスペンション・ブレーキ等の分解組み付け、測定を行います。	1前後	240	16			○	○		○		○
○			電装整備作業	電気の基礎を学び、灯火装置等、車体電装品の構造を理解し、点検方法や分解整備を行います。	1前後	75	5			○	○		○		○

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車学科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			教養	就職試験に対応する為の一般常識問題及びビジネスマナー等の実践方法及びパソコンの基本操作を学びます。	1後	30	2	○	△		○		○		
○			数学	燃費、平均速度、電気、荷重、車速、燃費等、自動車に関する計算問題を基礎から学びます。	1後	30	2	○			○		○		
○			エンジン整備作業	エンジンの構造や機能を理解し、エンジンの分解や組み付け、分解した部品の測定、良否の判定等を行います。	2前後	180	12			○	○		○		
○			シャシ整備作業	クラッチ、A/T、ブレーキ、パワーステアリング、CVT、ホイールベアリングの分解組付けや、測定作業を行います。	2前後	180	12			○	○		○		
○			電装整備作業	冷却装置・燃料装置・吸排気装置・電気装置・始動装置・充電装置・電子制御装置の測定・故障診断を学びます。	2前後	180	12			○	○		○		
○			故障原因探究整備作業	電気配線図と外部診断器を活用し、機械的な故障原因と電子制御システムの故障原因を明確に区分して学びます。	2後	30	2			○	○		○		
○			自動車検査作業	指定整備記録簿をもとに車検を実施し、検査機器を用いて適合するか否かを判断する作業を行います。	2後	60	4			○	○		○		
○			教養	自動車の構造や点検方法などの基本を理解し、問診・現象の確認・原因の推定等、自動車に関する教養を学びます。	2前	30	2	○	△		○		○		
合計						30	科目	1980			単位時間		(132)		単位

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
■成績評定がすべて可以上。 ■欠課があるものについては、補充で補う事。 ■提出物が出されている事。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。